

令和3年度

香川県教育センター

研究発表会



令和4年2月18日(金)

YouTube **LIVE** 配信

自分たちで学び合い、
問題を解決していく力を付ける。
ICTを活用した授業で、より迫っていく。



令和3年度の研究発表会は、教育センターでの集合型発表会ではなく、ライブ配信で実施しました。オンラインによる発表にしたことで、香川県内に限らず県外からも数多くの方に視聴していただき、無事に発表会を終えることができました。関係の皆様には心より御礼申し上げます。

ここでは、「調査研究発表」、「パネル・ディスカッション」、「講演」それぞれの概要と視聴された方の感想の一部を紹介します。

調査研究発表

ICTの効果的な活用による「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた調査研究

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、1人1台端末の活用を中心に、ICTをどのように活用すれば効果的なのか、そしてそのための土台をどう作るのか、香川県教育センター協力量校の実践を基に、提案しました。また、全国学力・学習状況調査の結果からうかがえる本県の児童生徒の状況等をお伝えし、ICTのあるなしに関わらず、これからの時代に求められる力を育成するための授業づくりについても考える機会となりました。

研究発表冊子については、引き続き香川県教育センターWebサイトに掲載していますので、ぜひ御活用ください。

(視聴者感想)

- ▶ 「ICTを使っている」だけでなく、「教科の目標を達成させるためのICT活用」とは何なのかを考えさせられる研究発表でした。日常的に利用することから、教師の指導観がどのように変化するかを探ってみたいと思いました。
- ▶ ICTを活用する際の導入・展開における注意点について学ぶことができました。導入については、ICTを使うことで子供に興味をもたせることが主体的な活動ではないということだと思います。主体的な活動とは、自らが考えることであり、考える時間や場を提供するための道具であることを意識しなければなりません。展開については、考えたことを協働的に話し合うわけですが、個別の最適な学習も確保する必要があります。それぞれの子供のペースに合わせた使い方が重要だと感じました。
- ▶ 本県においてもGIGA元年の今年度、模索しながらの一年でしたが、考え方や方向性に間違いはなかったと客観的に見つめ直す機会になりました。ますます教育の目的と手段を明確にすることが大事であると感じました。



【研究発表冊子へ】

※閲覧・DLには教職員用IDとパスワードが必要

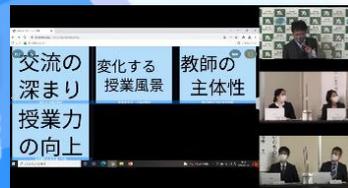
パネルディスカッション

GIGA スクール元年を通して見えてきた成果と課題

協力量校の4校(高松市立林小学校、観音寺市立一ノ谷小学校、小豆島町立小豆島中学校、多度津町立多度津中学校)と、今年度の成果と課題について協議しました。どのような校内研修を行うことで教職員の意識が高まったのか、積極的にICTを活用することで見えてきた課題は何なのか等について、視聴者も含めて共有することができました。

(視聴者感想)

- ▶ ICTが日常的に利用されることで、「学びの変化」と「教師の意識変化」が相互に関わり、教師の指導観に影響することが分かりました。また、学校全体でどのように取り組んでいくべきなのかを考えさせられるいい機会となりました。
- ▶ ICTが導入された目新しさによる子供の学習意欲の向上から、子供がICTを活用した授業に慣れてきたことに対して一歩踏み込んだ取組まで発表されており、これからどの学校も迎えていく、もしくは既に直面している課題だと感じ、とても参考になりました。そこから改めて、デジタルとアナログのベストミックスについて考えることが必要だと感じました。
- ▶ うまいことだけでなく、うまくいかなかったことも実践した結果として分かった「成果」であるという所に納得しました。そして、これから実践研究をしようとしている身としても励まされました。また、児童生徒の意欲の低下から、ICTをただ活用するだけでなく、効果的な活用をすることが大切であるという分析が分かりやすく、参考になりました。



講演

〈講師〉 文部科学省 国立教育政策研究所長 **浅田 和伸 氏**

〈演題〉 「教育は人を幸せにするためのもの」

子供は、それぞれが独立した人間であり、大人の思い通りになるものではない。それを理解した上で、子供たちの未来や幸せのためにどうあるべきかを、「教育の不易と流行」、「子供たちが生きる未来」、「これからの学校、これからの学び」などの視点から、様々な資料や文献を引用し、分かりやすく説明していただきました。また、教育において一番大切なのは、浅田先生のお言葉の、「教育は子供たちと社会の未来を創るものであり、一人一人の幸せな生につながるものでなくてはなりません」ということだと、改めて気付くことができたご講演でした。

(視聴者感想)

- ▶ 目の前の教育課題だけでなく、教育の根幹を考えさせられる内容であり、原点に立ち返って教育を考える機会になりました。最終的には子供が幸せに生きていくために、どのような教育が必要なのかを常に考えながら、教育活動を行うことが大切だと改めて感じました。
- ▶ 浅田先生の「子供が幸せになるための教育活動をしなくてはいけない」という想いに、はっとさせられました。忙しさのあまり、それぞれの子供に合わせた教育的配慮をやっていない自分がありました。様々な教育活動が全て、子供の幸せにつながるように取り組んでいきます。
- ▶ 普段はなかなか深く考えられなかったような様々な視点での教育の在り方について学ぶことができました。自分自身の教育観を更新する機会とすることができました。
- ▶ 何よりも子供が幸せな人生を送れるよう日々精進したい想いを新たにするとともに、自分自身がこの仕事に携わっていることの幸せをより深く感じました。



この他、アンケートでは、ライブ配信型発表会に関して貴重な御意見をたくさんいただきました。次年度の研究発表会に向けて参考にさせていただきます。

